

北川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～古くから霞堤に守られた地域だからこそ、更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、北川水系においても、幸福度※日本一の福井を洪水から守るため、古くから霞堤に守られた地域だからこそ更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。（※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続総合1位）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防強化、堤防拡築、河道内樹木伐採
- ・水防拠点の整備
- ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・調節池
- ・河内川ダムにおける事前放流等の体制構築、実施（関係者：国、福井県、小浜市、若狭町等）
- ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証等

■被害対象を減少させるための対策

- ・災害危険区域
- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
- ・霞堤の機能維持保全・輪中堤

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
- ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの更新・周知（想定最大規模の降雨を対象）
- ・市町を超えた広域避難計画の検討
- ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
- ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
- ・重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施
- ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
- ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策・水位計、量水標、カメラ設置
- ・水防資材の配備等



凡例

○	頭首工
●	霞堤
—	河道掘削
—	堤防拡築
—	堤防強化(侵食)
—	堤防強化(浸透)
—	輪中堤
■	浸水範囲(整備計画規模洪水)
⊗	S26年13号 台風堤防決壊箇所(国)
⊗	H25年18号 台風堤防決壊箇所(県)
↔	大臣管理区間



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。



河道掘削(国)



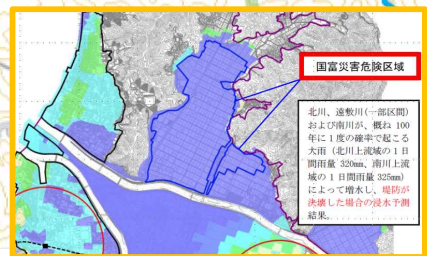
霞堤の維持保全(国)



森林整備(国、県、森林整備センター)



江古川地区の輪中堤整備(福井県)



災害危険区域の設定区域(小浜市)



避難確保計画作成支援(国、県、市)



マイ・タイムライン作成支援(国)

北川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～古くから霞堤に守られた地域だからこそ、更に輪中堤と土地利用で治水を進化させる流域治水対策～

● 北川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。あわせて、一部の氾濫原における洪水氾濫を許容する霞堤を維持保全する地域特性を踏まえ、更に輪中堤の整備と土地利用規制による流域対策や、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づく防災指針の検討等)や既存ダムでの事前放流等の流域における対策、地区タイムラインの活用等のソフト対策を実施。SDGsに位置付けた持続可能な流域治水により、福井県の幸福度日本一の担保に寄与。

【短期】 河床掘削(水取地区・高塚地区)と遠敷川合流点の水位低下方策の整備及び輪中堤の整備により、浸水リスクを低減。

【中長期】 北川全域に必要な「堤防拡築」により、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期(5年程度)	中長期(整備計画完了)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	福井河川国道事務所	水取地区 高塚地区	河道掘削完成 水位低下方策完成
	遠敷川合流点の水位低下方策	福井河川国道事務所		堤防拡築・堤防強化完成 遠敷川合流点
	堤防拡築・堤防強化	福井河川国道事務所		堤防拡築・堤防強化
	下水施設	小浜市		下水施設
	既存ダム事前放流	福井河川国道事務所・福井県・小浜市・若狭町等		事前放流
	砂防・治山・森林整備(間伐等)	福井県・滋賀県・市町・福井森林管理署・森林整備センター等		砂防・森林整備
被害対象を減少させるための対策	災害危険区域	小浜市		
	土地利用規制・誘導(災害危険区域等)検討	各県市町・河川管理者		
	立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討	小浜市		立地適正化計画
	霞堤維持保全	福井河川国道事務所・小浜市・若狭町		
	輪中堤	福井県	江古川地区	輪中堤完成
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策・早期復興支援	全ての関係機関・福井県防災士会・福井県建築士会		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業費 (R2年度以降の残事業費)】

<p>■河川対策 全体事業費 約38億円 ※1 対策内容 河道掘削、堤防拡築、堤防強化 等</p> <p>■下水道対策 全体事業費 約4億円 ※2 対策内容 下水道管渠の整備、雨水貯留施設の整備 等</p> <p>※1: 直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載 ※2: 各市町における下水道事業計画の残事業費を記載</p>
--